

初夏を感じて茶会が開催

伊藤左千夫茶会 春の宴「ゆずりは茶会」

左千夫茶会春の宴『ゆずりは茶会』は、初夏を感じる5月2日、左千夫生家と唯真閣で開催されました。茶道団体『唯真会』40人の皆さんは、前日から準備し、参加者182人を迎えてお点前を披露。着物姿の人が多く見られる中、市内の小学校に通う児童の姿もありました。児童は、茶道の先生から「美味しかった」の質問に「とても美味しかったです」と恥ずかしそうに答えていました。また、お点前に使われた水差しには、こどもの日にちなみ色鮮やかな唐子(子どもの絵)柄が描かれていました。



左千夫生家には子どもからご年配までお茶を愛する多くの人が集まった



昭和15年建築の約50坪の木造作りの会場。用意された140の客席は満席。観客は、ほのかに香る地酒の香りを楽しみながら名曲に酔いしれていた。

酒蔵で名曲に酔いしれる

第18回舞桜酒蔵コンサート

酒蔵コンサートは、4月26日、蓮沼にある創業明治26年の守屋酒造株で開かれました。

「古い蔵をどうにか活用できないか」と考えて始まった酒蔵コンサートは今年で18回目を迎えました。今回の出演者は、ソプラノ赤池優さん、ピアノ中山博之さん、チェロ磯野正明さんの3人。曲目は、アカデミー賞を受賞した映画「おくりびと」のテーマソングやショパン作曲「子犬のワルツ」(ピアノソロ・中山編曲)など、だれもが一度は耳にしたことのあるクラシックの名曲や日本の春を歌う「さくらさくら」など多彩な音色を披露。最後は恒例の「おぼろ月夜」を熱唱し出演者と観客が一体となって幕を閉じました。

5代目蔵主の守屋雅博社長は、「コンサートを通して元気を皆さんに与えられたら嬉しい。来年はショパン生誕200年なので、ショパンの曲を中心に構成したい」と19回目への意欲を見せていました。

海水浴季節も安全で安心

海岸における暴力団排除に関する協定を締結

市は、安全で安心な海水浴場を確立するため、4月10日に「海岸における暴力団排除に関する協定」を山武警察署と締結しました。市では、成東地区に加え蓮沼地区の海岸における日常管理の権限を、4月に千葉県から委譲を受けました。それに伴い海岸管理条例の一部を今年3月に改正し、併せて全国でも類をみない暴力団排除に関する条項を盛り込みました。これを受け、山武警察署とより一層の協力体制の強化を図るため協定を締結しました。



左側から椎名市長と片桐山武警察署長